

日本宇宙少年団 こおりやま分団

こおりやま分団は、福島県郡山市を中心に活動しています。

郡山市のランドマーク「ビッグアイ」。
地上高104.25mの位置にある
「世界で一番、地上より高い位置にある
プラネタリウム」を持つ、
「郡山市ふれあい科学館スペースパーク」を
活動拠点に2001年4月に発足しました。

日本宇宙少年団こおりやま分団入団式

本当の空がまだまだ残っている福島県郡山から、
宇宙や自然、科学に興味を持つたくさんの人材が
育ってくれることを日々願って活動しています。

入団式の後に分団長が管理している畑で、じゃがいもやトウモロコシを植えます。
夏に収穫してキャンプの時に食べたり、野菜ロケットの燃料にします。

春



夏休み前に工作をします。天体望遠鏡やプラネタリウムなど、仕組みを勉強しながらみんな、一生懸命組み立てます。

科学技術の展示やJAXA施設の見学を通して、団員の科学への好奇心を高めるため、
毎年秋に施設見学バスツアーをおこなっています。



秋

etc...

「ふくしまスカイパーク」のイベントに「福島分団きぼう」と合同で参加しています



春と秋に天体観測会を開催しています



県内高校、大学などの天文サークルと合同でおこなった
アイソン彗星観測会

団員数は小学一年生から高校生まで約50名、リーダーや協力者を含め約60名ほどの分団です。
普段は10～20名の団員が、それぞれの興味に応じて行事に参加しています。



東日本大震災以降、活動を縮小していた時期もありましたが、
25年度以降は活動の幅を広げ、福島市や田村市などにも出かけて
「宇宙の中の私たち」をテーマに活動しています。
特にホンモノ体験や、ものづくりの楽しさを伝えようと、
いろいろな活動を進めています。



団員の親睦を深め、より楽しく活動するため、またキャンプを通じて宇宙や、
自然科学への興味をより深くするために、毎年キャンプ（合宿）をしています。

星の村天文台（田村市滝根町）での合宿



夏

冬は科学工作をしています。
和風や竹とんぼなど古来伝統の工作を通して科学のみならず、歴史や郷土への関心を高めます。
また、折り紙飛行機やゴム動力飛行機など、飛ぶものの仕組みを学びます。



冬

おもしろ科学実験
身近なものを使って科学実験をおこない、科学への興味を引き出します。
「福島分団きぼう」の団員も参加、両分団員の交流の場にもなっています。

水ロケット工作・打ち上げ



古川宇宙飛行士と交流



活動の様子はホームページで！

こおりやま分団HP <http://yackoriyama.b.1a9.jp/>

こおりやま分団 QRコード
宇宙への窓 検索

宇宙時代の地球人を育てる
YAC
日本宇宙少年団
こおりやま分団